

次の文章を読み問1～問2を答えよ。(2019年東アカ109回①AM成人)

Aさん(55歳、女性)は5カ月前から便秘傾向になり、1か月前から便に血液が混じるようになった。痔だと思い、気にしていなかったが、少しずつ出血の量が増え不安になり病院受診した。検査の結果、直腸がんと診断された。

問1

Aさんは腹会陰式直腸切除術を施行するため、入院となった。人工肛門を造設するにあたり、ストーマサイトマーキングが行われた。Aさんは看護師に「お腹に穴を開けてそこから便が出るということが考えられなくて私には自分で管理するなんて無理です。他の治療法はありませんか」と涙を浮かべながら訴えてきた。

看護師の声かけで適切なのはどれか。

- 1、「もう一度人工肛門について説明しますね」
- 2、「主治医に他の治療法を考えてもらうように聞いてみますね」
- 3、「家族や訪問看護師に手伝ってもらいましょう」
- 4、「Aさんの不安や思いをお話ししてくださいませんか」

問2

Aさんは予定通りに手術が施行された。経過も順調で退院に向けて指導が行われた。

Aさんの言動で正しく理解できていないと判断するのはどれか。

- 1、「食事の制限はないのですね」
- 2、「入浴はできませんね」
- 3、「遠出の外出や旅行をしていいのですね」
- 4、「運動に大きな制限はないのですね」
- 5、「身体障害者の認定を受けることができるのですね」

次の文章を読み問3～問5を答えよ。(2019年東アカ109回①AM成人)

Aさんは(50歳、男性)は、日頃から仕事の都合により食生活が不規則で、昼食と夕食は外食やコンビニエンスストアの揚げ物、菓子パンで済ませることが多い。会社の健康診断の結果、保健指導を受けることになった。

健康診断の結果:身長 170cm、体重 80kg、腹囲 83cm、血圧 128/78mmHg。

空腹時血糖 108mg/dL、トリグリセリド 140mg/dL、HDL コレステロール 70mg/dL、LDL コレステロール 130mg/dL、尿酸値 8.5mg/dL、赤血球数 450万/uL、Hb15g/dL、AST181IU/L、ALT141IU/L、r-GT12IU/L。尿糖(-)、尿蛋白(-)。

問3

Aさんの健康診断の結果のアセスメントとして適切なのはどれか。

- 1, BMIは肥満度I度である
- 2, 肝機能障害が見られる
- 3, メタボリックシンドロームである
- 4, 貧血がある

問4

Aさんは再検査の結果、高尿酸血症と診断され、外来にて薬物療法が開始された。Aさんは「まったく関節の痛みや腫れもなく、元気だと思っていたのですが」と話している。

現在のAさんの治療薬として考えられるのはどれか。2つ選べ。

- 1, コルヒチン
- 2, インドメタシン
- 3, プロベネシド
- 4, アロプリノール
- 5, アスピリン

問5

Aさんに薬物療法とともに食事療法が行われた。

指導内容として適切なのはどれか。

- 1, 高カロリー食を摂取する
- 2, 高たんぱく食を摂取する
- 3, アルカリ性食品の摂取をする
- 4, 水分制限をする

次の文章を読み問6～問8を答えよ。(2019年東アカ109回①AM老年)

Aさん(75歳、男性)は、家族は妻だけで子供はおらず、Aさんの両親は他界している。定年までは公務員として働き、退職後は株式投資をしたり、妻や友人と旅行したりしながら暮らしていた。地域の行事には積極的に参加し、近隣住民との人間関係も良い。昨年、夏の暑さから体調を崩し、起立性低血圧やレム睡眠行動障害を起こし、物忘れやうつ症状が目立つようになった。Aさんは疲労時に幻視の自覚症状があり、初期のレビー小体型認知症と診断された。現在、要介護認定の申請中である。

問6

妻から「認知症と診断された夫にどう関われば良いですか」と相談があった。

Aさんへの対応の説明で適切なのはどれか。

- 1, 幻視は「私にもちゃんと見えるよ」と肯定する
- 2, 会話は短くはっきりと具体的に話す
- 3, 見当識障害における事実誤認は訂正する
- 4, レム睡眠行動障害時は体を抑制する

問7

その後3年が経過し、Aさんは要支援2の認定を受けている。最近、Aさんは行動・心理症状が目立つようになってきた。妻は「だんだん私の目が届かなくなってきました。しかし、私も買い物など日中に自分の時間をつくりたいです」と訴えている。

妻に対するレスパイトケアで適切なのはどれか。

- 1, 訪問看護
- 2, 訪問リハビリテーション
- 3, 認知症対応型通所介護
- 4, 認知症対応型共同生活介護(グループホーム)

問8

Aさんは少しずつ計画を立てて物事を行うことが難しくなり、物忘れや人の認識がうまくできないことが増えた。妄想に支配され、そのことを確認するような行動がみられる。次第に行動に時間がかかるようになり、起立時の前傾姿勢、小刻みなすり足歩行、筋固縮がみられるようになってきた。

Aさんにみられているレビー小体型認知症の特徴的な症状はどれか。

- 1, パーキンソン症状
- 2, 登攀性起立
- 3, 常同行動
- 4, 反社会的行動

次の文章を読み問9～問11を答えよ。(2019年東アカ109回①AM小児)

Aちゃん(10歳、女児)の洋服を新調するために、母親はAちゃんを連れて買い物に行った。試着室でAちゃんの両肩や背中が洋服ときちんと合わないことに母親が気づいた。小学校の養護教諭に相談し、保健室で検査を行ったところ脊柱側彎症の疑いがあるため、整形外科の受診を勧められた。

問9

保健室の検査でAちゃんに見られた身体の特徴はどれか。

- 1, 乳房の大きさが左右非対称である
- 2, 直立不動(気をつけ)の姿勢で両手先の位置が違う
- 3, 立位検査で片側の肩甲骨が陥没している
- 4, 前屈検査で片側の背中や腰部が隆起している
- 5, Cobb角がみられる

問10

後日、Aちゃんは母親と一緒に整形外科を受診した。検査の結果、Aちゃんの彎曲は25度で装具治療を行うことになった。

Aちゃんと母親への説明で正しいのはどれか。

- 1, 「装具をつければ脊椎がまっすぐに戻ります」
- 2, 「側彎の進行防止のために行います」
- 3, 「運動は装具をつけたまま行ってください」
- 4, 「今後は必ず手術が必要になります」

問11

受診3日後。母親から「装具をつけるのを嫌がるのですが、どうしたらよいでしょうか」と質問を受けた。看護師の母親への対応で適切なのはどれか。

- 1, 「装具をつけないと治りませんよ」
- 2, 「嫌がるときは装具を外してよいですよ」
- 3, 「Aちゃんがどうして嫌がるのか話を聴いてみましょう」
- 4, 「装具治療はやめて手術をしましょう」

次の文章を読み問 12～問 14 を答えよ。(2019 年東アカ 109 回①AM 母性)

Aさん(30 歳、経産婦)は、夫と2歳の娘との3人で暮らしている。専業主婦であり、仕事はしていない。現在、妊娠 34 週であり、妊娠経過は母子ともに順調である。本日、定期の妊婦健康診査のため、受診した。

問 12

Aさんが妊婦健康診査を受ける間隔として適切なのはどれか。

- 1, 1週間に1回
- 2, 2週間に1回
- 3, 3週間に1回
- 4, 4週間に1回

問 13

受診時に、Aさんから「最近、よくお腹の子が動きます。あまり激しいとお腹が張って辛いし、夜も遅くまで起きてしまいます。」と看護師に訴えがあった。

看護師の Aさんへの保健指導で適切なのはどれか。

- 1, 「お子さんが元気な証拠ですから、仕方ありませんよ」
- 2, 「あまりにお子さんの動きが激しいときは、朝まで起きているようにしましょう」
- 3, 「気にせず眠るようにしてください」
- 4, 「夜あまり眠れなかったときは、昼寝をするようにしましょう」

問 14

Aさんは、「長女を抱っこすることも多いせいか、最近、腰も痛くなってきました。」と話す。

看護師の声かけで適切なのはどれか。

- 1, 「ヒールの高い靴を履くようにしましょう」
- 2, 「下にある物を持ち上げるときは、しゃがまないようにしましょう」
- 3, 「妊娠体操をしましょう」
- 4, 「なるべく同じ姿勢でじっとしていきましょう」

次の文章を読み問 15～問 17 を答えよ。(2019 年東アカ 109 回①AM 精神)

A さん(55 歳、女性)は、夫と息子の3人家族である。もともと教育熱心な専業主婦であるが、夫は毎日仕事で忙しく、子育てのほとんどを A さんが行っていた。昨年、息子は大学を卒業し、1人暮らしを始めた。半年前から、A さんに空虚感や抑うつ感が出現し、近所付き合いや買い物も億劫になった。1か月前からは、ほとんどが外出しなくなり、「生きてる意味がない」「死にたい」との発言が聞かれるようになった。本日、夫に付き添われ外来受診し、医療保護入院となった。

問 15

半年前から A さんに出現している症状はどれか。

- 1, 空の巣症候群
- 2, サンドイッチ症候群
- 3, テクノストレス
- 4, ワーカホリック

問 16

A さんの入院処遇について正しいのはどれか。

- 1, 閉鎖病棟への入院が必要である
- 2, 息子との手紙の発受は禁止する
- 3, 行政職員との面会は制限する
- 4, 退院する際は都道府県知事へ届け出る

問 17

A さんには薬物療法が開始され、選択的セロトニン再取り込み阻害薬が処方された。

この薬の副作用として最も考えられるはどれか。

- 1, 乳汁分泌
- 2, 血糖上昇
- 3, 遅発性ジスキネジア
- 4, セロトニン症候群

次の文章を読み問 18～問 20 を答えよ。(2019 年東アカ 109 回①AM 在宅)

A さん(36 歳、男性)は、妻(34 歳)と息子(4歳)の3人で暮らしている。A さんは建築作業員であり、仕事中に高所から転落して、救急搬送された。検査の結果、急性硬膜外血種、外傷性脳出血と診断され、ICU にて集中治療を受けた。受傷から1週間後に一般病棟に移り、徐々に回復し1か月後には左半身の不全麻痺があるものの、自力での食事摂取で歩行もできるようになった。

問 18

A さんは、コミュニケーションは取れるが、ぼんやりしていることが多く、家族がいても無関心であったり、自分の病室を間違えたりすることが多々あった。また、服を着る時に前後を間違えてうまく着られないことも多く、高次脳機能障害と診断された。

A さんに生じている症状はどれか。

- 1, 失認
- 2, 失行
- 3, 遂行機能障害
- 4, 半側空間無視

問 19

A さんの退院が決まり、妻が「これからの生活が不安です。夫の退院がもっと先だったらよかったのに」と地域連携室の看護師に打ち明けた。

地域連携室の看護師の対応として適切なのはどれか。

- 1, 主治医に退院の延期を依頼する
- 2, リハビリテーション施設を紹介する
- 3, どのようなことを不安に思うのか具体的に聴く
- 4, しばらく様子を見る

問 20

退院後、週 1 回の訪問看護が導入された。A さんの妻より「新しいことが覚えられなかったりやったことを忘れてしまったりすることが多くて、私もついイライラしてしまいます。本人もそれにストレスを感じているようです。どうしたらいいのでしょうか。」と訪問看護師に相談があった。訪問看護師から妻へのアドバイスとして適切なのはどれか。

- 1, 「A さんに毎日新しいことを試すように促してください」
- 2, 「一度に伝える情報を少なくしてください」
- 3, 「慣れるしかありません」
- 4, 「作業手順表を作ってください」

次の文章を読み問 21～問 23 を答えよ。(2019 年東アカ 109 回①AM 看護の統合と実践)

A さん(76 歳、女性)は外国人であり、旅行目的で日本を訪れていた。観光地の階段で転倒して立ち上がれなくなり、近くの病院に救急搬送された。診察時、A さんは英語の会話は可能であったため、英語を話すことができる B 看護師がイラストや身振りを交えて、A さんは転倒による大腿骨頸部骨折であり、入院治療が必要であることを伝えた。その後、直達牽引を行い、整形外科病棟の個室に入院することになった。

問 21

B 看護師が病棟を訪れると、A さんはベッド上で上半身をひねり一定の方向に向かってお祈りをしていた。

このときの B 看護師の声かけで適切なのはどれか。

- 1, 「お祈りがしやすいようにベッドを動かせるか相談してみましょう」
- 2, 「医師にお祈りをしてもよいか相談してみます」
- 3, 「病院内で宗教行為はご遠慮ください」
- 4, 「ベッド上の安静が保てないとよくなりませんよ」

問 22

食事の時間に病院食が配膳された。A さんは「食べられない」と話し、病院食を一切口にしようとしな。B 看護師の対応で最も適切なのはどれか。

- 1, 「たくさん食べないとよくなりませんよ」と話す
- 2, 食欲がないとアセスメントする
- 3, 「どうして食べられないのですか？」と尋ねる
- 5, A さんの食べたいものを買ってもらう

問 23

その後必要な検査が終わり、A さんに人工骨頭置換術が行われた。

術後の患側肢位で適切なのはどれか。

- 1, 内転中間位
- 2, 内旋位
- 3, 外旋位
- 4, 外転・回旋中間位